受付
-8.3.23
川上京区役所
護保

社会福祉法人　健光園

小規模多機能ホーム　十四軒町の家

小規模多機能型居宅介護　サービス評価

令和７年度

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人健光園	代表者	古石　隆光
事業所名	小規模多機能ホーム 十四軒町の家	管理者	片山　雅巳

法人・事業所の特徴	「生涯地域居住」の理念のもと高齢者から児童までの福祉サービスを提供している。 「大切な人にこの場所を」の理念を掲げ、慣れ親しんだ地域で高齢者が安心して暮らし続けられる支援を目指しています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4　人	2　人	3　人	1　人	1　人	6　人	3　人	17　人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	会議のオンライン化や動画視聴。会議での決定事項は、全職員に周知できるよう日々行っているミーティング開催の見直しを行う。	ミーティング開催時間を変更した結果、午後からの業務に支障が出たため、もとの時間に戻す事にした。	事故やヒヤリを未然に防ぐためにも、情報共有は大切だと思います。	情報共有をする際、口頭や文書だけではなく、画像や動画なども用いて、職員が同じ事をイメージしながら、周知できるようにする。
B．事業所のしつらえ・環境	広報誌の継続発行だけでなくInstagramなどで写真、動画による日常生活紹介の取り組みは継続するが、以外に家族会を開催し、口頭でも紹介できる機会をつくる。	今年度、家族会を開催した。それぞれのご利用者が、どのような形でサービスを受けているのかなど、家族間で情報交換されていた。	楽しそうなイベントをされているのをInstagramで見ています。	家族会や家族交流会など、家族も参加しやすい企画を開催し、ご家族にも十四軒町の日常をしってもらう機会をつくる。
C．事業所と地域のかかわり	イベントなどを通し、幅広い世代との交流が図れる機会を作り、相談に来やすい雰囲気を意識する。	千本通商店街百円市の参加や、地域サロン活動拠点になるなど、幼児～高齢者まで交流する事ができた。	地域の高齢者にも、集まれる場があればよいと思う、	お料理教室やその他のイベントを開催する時は、Instagramなどを活用し、次回の開催案内を幅広く行う。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	料理教室は日付を決めて定例開催にすることで、地域の方も参加しやすいよう、開催の1ヵ月前から呼びかける。	開催開始までに、支援が終わらず職員がそろわない事がある為、開催を30分ずらし、10時30分からの開始に変更した。	大変だと思いますが、季節感を味わえる外出は良いと思います。	千本商店街百円市、地域サロン、出水夏祭りなどの地域行事に積極的に関わり参加する。
E．運営推進会議を活かした取組み	報告内容がマンネリ化しないよう工夫する。	限られた時間で報告をする為、あまり工夫という事はできず、通常の報告になっていた。	地域の関係者が集まる場なので、お互いにとって良い会議になればよいと思う。	一方的な報告にならないように、地域での取り組みや課題など、参加者にも話しやすく相談しやすい雰囲気で開催する。
F．事業所の防災・災害対策	災害対策や取り組みについては、事業所内だけではなく、地域の方にもInstagramや広報誌などで発信する。	訓練の様子など動画で紹介する機会がなかった。	災害はいつ起こるか分からないので、備蓄など知っておきたいです。	災害対策や取り組み、事業所備蓄、備品の紹介を行う。